

## 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 5年 3月 31日

事業所名 それいゆ療育センター伊万里

保護者等数（児童数）15名 回収数 8名 割合 53 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88%	13%				お子様の特性に合わせた活動スペースを作っています。またクラスや特性に合わせて変化することがあります。定期的に見直しながら、適切な広さの確保に努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	88%			13%		当事業所では厚生労働大臣の定める基準を遵守し職員を配置をしています。研修等を通して、専門性の向上に努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					お子様の特性に合わせて家具や物品等を配置し、活動しやすい空間を提供しています。今後もお子様にわかりやすい環境づくりに努めます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%	13%		13%		療育後には、活動の際に使用した道具やおもちゃなどの消毒を徹底しており、お子様が清潔に気持ちよく過ごすことのできる空間作りに努めています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	100%					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					
	⑧	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	88%			13%		お子様の障害の特性や課題等に応じて個別のプログラムや集団でのプログラムを計画しております。計画的に変化を取り入れながら、活動を計画していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	38%	25%	13%	25%		お子様の特性等を考慮し、社会性や対人関係の学習に取り組んでいます。事業所として交流は行っておりませんが、学習した内容を参考にし、通園先等で適切ななかかわりができるよう、支援内容を計画してまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	88%		13%			ご利用時には、保護者様へ療育の様子と共に必要な手立てや対応について具体的にお伝えできるよう努めています。保護者交流会の際にも、障害特性やお子様への適切な対応についてのお話などもさせて頂いておりますので、ぜひご参加ください。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	75%	25%				お子様の状況は療育時に保護者からお聞きしたり、連絡帳でやり取りをさせていただいております。療育時の保護者様への報告の際は、療育の内容や活動の様子等を中心にお伝えしています。お子様の発達の状況や課題については支援会議等で話し合い、さらに共通理解したいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	75%	13%		13%		定期的に保護者会を企画し、生活の様子や困りごと等を保護者同士で共有できる機会を設けています。地域資源や家庭での対応方法等も知ることのできる機会となっております。ぜひご参加下さい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	88%			13%		連絡帳の記入や療育後の申し送り、支援会議の際に、相談やご要望等をうかがうよう努めています。お気づきの点やご意見等がある際は、要望、苦情等受付窓口も設置しておりますので、お申し出ください。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88%			13%		お子様とは、特性等に配慮した手立て等を使用して、意思疎通や情報理解ができるよう努めています。今後もご本人にあった意思決定ができるよう努めます。保護者様とは、連絡帳や療育後の申し送りの際に、情報交換ができるよう努めており、今後も継続してまいります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	50%			50%		活動報告は、個人情報に配慮し、ホームページ上では行っておらず、行事予定などは文書を配布しております。業務に関する自己評価は、ホームページに結果を公表しております。
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	75%			25%		定期的に研修を行い、個人情報に対して職員1人1人が意識して取り扱っております。今後も取り扱いには十分注意してまいります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	50%	13%		38%		マニュアルにつきましては、契約の際にご説明しております。また、保護様が確認しやすい場所（廊下及び受付）に、避難マニュアルを設置しております。また、定期的に訓練等を実施しております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50%		13%	38%		定期的に職員で避難経路の確認や訓練等を実施しております。また、ご利用時に避難訓練を実施するクラスもありますが、ご利用日や時間によって該当しないクラスもあります。可能な限り全クラスで訓練が実施できるよう計画していきたいと思っております。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	88%	13%				お子様を通して来たいような活動と環境づくりに努めます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	88%			13%		お子様の特性に合わせた支援を行い、お子様と保護様が安心して通うことの出来る支援を、職員一同で努めてまいります。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。